



Nurse's

Introduction

退院調整看護師
(地域医療課) 太田 齊子

おおた ときこ

住み慣れた「地域へ帰る、地域で暮らす」ために

地域医療連携の分野では、介護と医療の連携が徐々に進み、最近では一人暮らしの高齢者や認知症をお持ちであっても、地域のご自宅へ退院されていかれるようになっています。

当院でも高齢でお一人暮らしの方や、中心静脈ポート、スピリーターを装着したままの方、ガン末期の方がご自宅、もしくは施設に退院されるケースが増えています。

治療を完全に終えてからということではなく、治療を継続しながら自分らしく住み慣れた場所で、療養生活へ踏み出されています。私たち退院支援部門の仕事は、そんな方々に安心して、できるだけ安全に療養生活を始めてもらえるよう、お手伝いしていただく事です。

退院支援にかかるスタッフは主に、MSW8名(医療福祉相談室)と退院調整看護師1名(地域医療課)です。



地域
医療
課

耳原総合病院 地域医療課

直通電話 072-241-0324

直通FAX 072-241-0208

■「診察・入院申込書」「検査申込書」をFAXいただくか、
お電話でご予約をお取りいたします。

※折り返しFAXにて予約票をお送り致します。

■予約当日、患者様が受診の際にご持参いただくもの

①保険証、②診療情報提供書、③上記予約票

※上記の3点をご持参いただくよう、患者様にお伝えください。

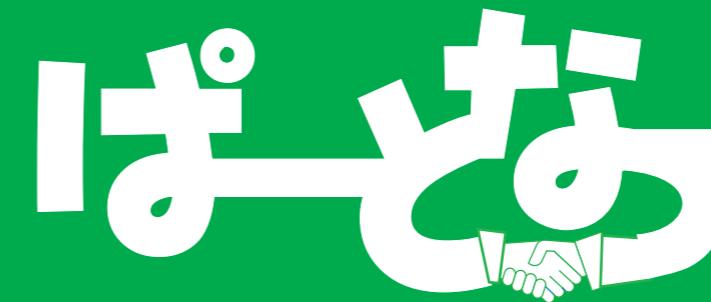


vol.126
ぱーとなー
(10月号)

2012年10月10日発行

■発行人/奥村伸二 ■発行/社会医療法人 同仁会 耳原総合病院 地域医療課
〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465番地
TEL 072-241-0501(代表) TEL 072-241-0324(直通)
URL <http://www.mimihara.or.jp/sogo/>

耳原総合病院の基本方針 一2015ビジョン
「いのちの平等をかけ、大阪南部になくてはならない保健・医療・介護・福祉の複合体として、
24時間365日、安全・安心・信頼の事業体とまちづくりを進めている」



耳原総合病院機関紙
VOL. 126
2012.10.OCT

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

- ♥安全、安心、信頼の医療
- ♥無差別、平等の医療
- ♥患者負担の少ない医療
- ♥地域とともに歩む専門職の育成
- 差額ベッド代はいただきません



活動をはじめて10年 緩和ケア病棟ボランティア

緩和ケア病棟ボランティア代表 山路 八重子

なあ、病気になってタバコ随分減らしたんや～とお話を始めくださいました。

希望や楽しみ、苦しみや不安も 分かち合える場所に

患者様やご家族、おひとりおひとりの、ささやかな希望や楽しみ、苦しみや不安も一緒に分かち合える場所になるよう心掛けることが、ボランティアのやりがいとなり、続けてこれたように思います。

平日の活動以外にも病棟行事で、毎月第1土曜日に行うイベント、年1回のクリスマス会、懇親会の開催は医療者集団と共同で企画、運営に参加しています。また、毎金曜日にはコーラスボランティア「コールフィリオ」指導による「うた声喫茶」もおこなっています。

私達に、こんな場が与えられ、10年目を迎えることが出来たのは「緩和医療は、患者様とその家族を中心に、私達医療者と医療を職業としない方々(ボランティアさんのみならず地域の方々も)が協力して作り上げていくものだと思います」と元緩和ケア病棟医師が書いておられた、病院の理念があるからだと思っています。



10月イベント運動会装飾下での「うた声喫茶」